

エスディジーズの目標達成にどう取り組むのか

外部人材の招致、町民の意向調査を基に進める



中山 美幸 議員

町長は誰一人取り残さない、「持続可能な地域社会を目指す」とされる理念の下エスディジーズに取り組もうとされているが、エスディジーズには17の目標と169のターゲットが示されている。17の目標にどのように対応していくのか、予算組されているか。

順次進めて行く

町長

2030年までに人口減少、空き家対策、担い手不足、外国人技能実習などの増加に伴う多文化共生社会、リサイクルに係わる物理的、心理的不安の解消に地域おこし研修員制度を利用するなど、町民の意向調査や研修プログラムなどを構築し進める。

エスディジーズアワード受賞の評価はなにか

中山議員

アワード表彰を受けているが、表彰の基となった項目は本町のどの活動がSDGsの貢献目標17項目のどれに該当し評価を受けたものか。

リサイクル事業が評価されたものである

企画調整課長

評価された貢献目標は

- 1 貧困
- 2 飢餓
- 3 保険
- 4 ジェンダー
- 5 水・衛生
- 8 経済成長と雇用
- 12 持続可能な生産と消費
- 17 実施手段

以下の8項目が評価されたものでリサイクル事業による雇用創出、ごみ出し困難者への個別回収、ジャイカ事業などによる外国人受け入れなどがあたる。

外国人と住民とのゴミ出しトラブル対策は

中山議員

外国人との多文化共生も延べ

られている、国の政策により技能実習生、特定技能就労による外国人が多くなっており、本町のゴミ分別、ごみ出し方法の理解不足による住民とのトラブルもあるがどう対応するか。

語学力に優れた国際交流員を置く

町長

本町の実態を見ると多くの外国人が居住されている。問題は言葉の問題であり、言葉の交流ができ、それらを通じゴミ出しや生活環境を理解してもらい地域社会の構築していくよう努力する。

住居登録時にゴミ出しの研修を実施すべき

中山議員

技能実習生の本町在住状況を見ると、外国人受け入れ斡旋団体が、他市町村の場合、本町のゴミ出しについて研修不足が見られる。そこで住民登録の時点で、説明だけにとどまらず、2、3時間の研修を義務付ける必要がある対応をしたい。

必要性は高いと認識しているので取り組んでいく

町長

必要性は常々感じている。現状では管理団体が他の県、市町

の場合が多い。トラブル発生時にすぐ対応できないことが予測される。緊急災害時の対応も同様であり、国際交流員などを招致し、地域住民と交流する機会を増やし、職員との交流にも積極的に取り組んでいく。

国外リサイクル指導に504万円必要か

中山議員

インドネシアなどのゴミ出しリサイクル指導支援にジャイカ助成金2千600万円のほかに本町の一般財源から、人件費など504万円が出ている。他国に使うより、まだまだ若年層の定住化を考えると、自分の町のゴミ出しによる住民負担を軽減するべきではないか。

将来反映されるよう取り組んでいく

町長

一般財源が多様化されているのは指摘の通りである。2011年から進めている事業で、最終的には子どもたちの人材交流までを見込んだもの、住民の共生社会が作れるよう、又還元できるように努力したい。

定住化住宅補助金の要綱改定をすべきである

中山議員

定住化を進めるため創設される100万円の助成が受けられる、定住化住宅取得補助金の要綱第5項に転入後2年以内と制限がある。転職し本町に住宅取得を考えた場合所得証明など無理があることから、この項目の期間を3〜4年程度に改定し定住化を促進すべきである。

精査する

企画調整課長

所得証明については、前任地での証明であり、提案を基に、精査する。

紙オムツの回収増加の約束はなぜ守られないのか

中山議員

平成30年3月議会一般質問の中で、改善するとの答弁をしているが、本年度予算にも計上がないが、改善できないのか。

協議し早急に対応する

町長

改善するとの答弁をしており回収方法など委託業者や衛生自治会との協議を進め4月からはできないが早急に改善する。